



MARINEPOWER
3000-24V

取扱説明書

目次

この度は、マリンパワー3000-24Vをお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。船釣りに便利な機能が多く搭載されているこの電動リールを正しくご使用いただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。またリール同様、この説明書も大切に保存していただきますようお願い申し上げます。

安全上の注意	1~7
電源について	8,9
電源とのつなぎ方	8
電源について	9
バッテリーチェック表示について	9
お手入れ方法	10,11
リールのお手入れについて	10
お手入れ方法	10
コード取扱い上のご注意・コードのお手入れについて	11
コードのお手入れのしかた	11
その他お手入れ上のご注意	11
各部の名称と機能	12,13
スイッチの名称と働き	14,15
道糸をリールに巻きます	16,17
下巻き入力もできます	18,19
釣りを始める前に	20
機能設定	21~24
船べり自動停止	21
底からカウンター	22
べりり機能（表示補正モード）	23
道糸データ修正	24
その他のべりり機能	25
いろいろアラーム	25
カウンターランプ	25
ロッドクランプの取り付け方法	26
仕様一覧	27
展開図	28
故障かな？と考える前に	29

安全上のご注意

電動リールご使用にあたり注意していただきたい大切なことが記載されています。ご使用前に必ず、お読みいただくようお願い致します。

●マークについて



この記号は「**してはいけないこと**」を意味しています。この記号の中や近くに、具体的な禁止内容を表示します。



この記号は「**注意すべきこと**」を意味しています。この記号の中や近くに、具体的な注意内容を表示します。



この記号は「**しなければならないこと**」を意味しています。この記号の中に、具体的な指示内容を表示します。

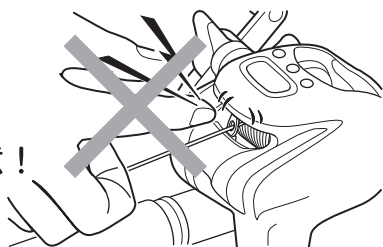
! 警告

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、生命に関わる障害・重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 糸をスプールに平行巻きにするレベルwindと本体の間に指をはさまれないようご注意ください。けがをする恐れがあります。



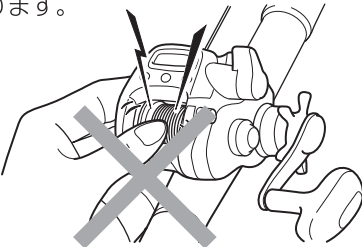
接触注意!



- 糸送り（モーター作動）中にクラッチをONにすると糸を巻き込みます。その際は指をはさまれないよう注意してください。けがをする恐れがあります。



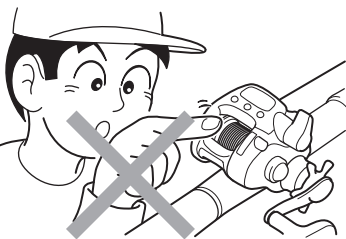
接触注意!



- お子さまが使用する時は、回転部やスキマに手をはさまれないよう、付き添いの保護者の方は十分ご注意ください。



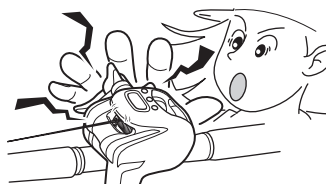
取扱注意!



- バッテリー、船電源などを使用する場合は、所定電圧以外を使用しないでください。所定の電圧以外を使用すると、電動リールが異常発熱し、手をヤケドしたり、ICが故障したりする恐れがあります。家庭用（交流）電源にはつながないでください。回路がショートし発煙・発火する場合があります。



使用の禁止!



100V



- 幼児の手の届く所では保管、使用はしないでください。



保管注意!



安全上のご注意

警告

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、生命に関わる障害・重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 電動リールを使用されますと微弱な電波が発生し、補聴器・ペースメーカー等の医療機器が誤作動したりするなど影響を与える場合があります。特に心臓ペースメーカーをご使用されている方が電動リールを使用されますと、動悸、目まいが起こる場合がありますので、本製品のご使用前に必ず当該各医用電気機器メーカー、もしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。


取扱注意！



- ハーネスなどで電動リールを体に固定するのはおやめください。大きな魚により、海水へ引き込まれるなど、生命身体に危害が及ぶ恐れがあります。


使用の禁止！

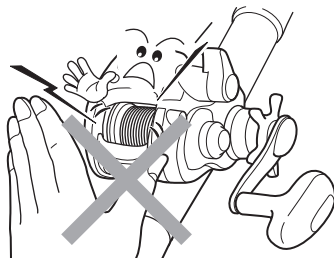


注意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

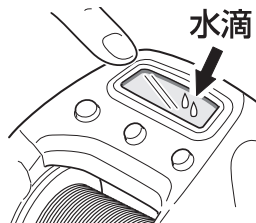
- 駆動しているとき、駆動部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。


接触禁止！

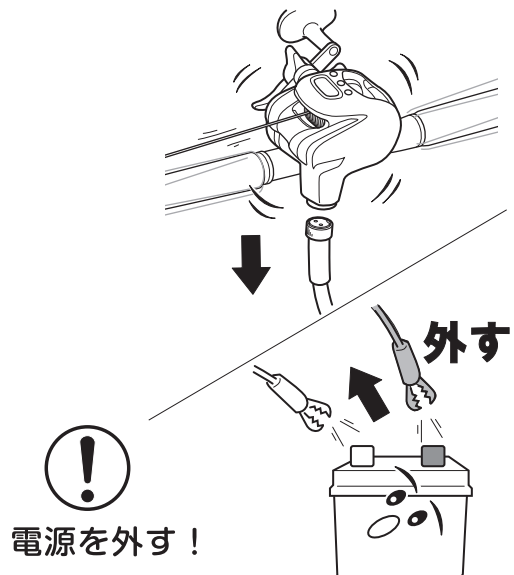


- 液晶中に水滴が見られる場合、モーターの回り放しなどICが故障して異常動作をすることがあります。すぐにご使用をやめて修理にお出してください。


使用の禁止！



- 何らかの異常で釣りの最中にモーターが回り放しになった場合は、指をはさまれない様、注意して、直ちに電源を外してください。



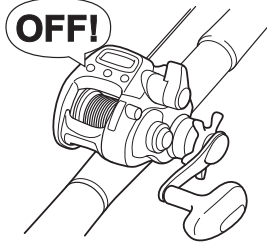
⚠ 注意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ドラグ力を設定する際は、必ずその前に、電動自動巻き上げをOFFにしてください。手で糸を引いてセットする場合がありますので、糸で手を切る恐れがあります。



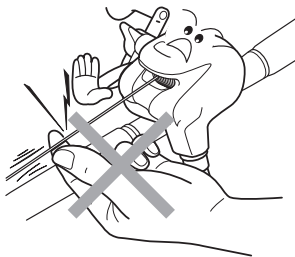
電源を切る！



- 糸が勢いよく出ているとき、または、糸を巻いているときに、糸をつかまないのでください。糸で指を切ることがあります。



接触注意！



- 屋内で糸を巻くときは、高速で行ってください。低速・高テンションで長時間かけて糸を巻くと、モーターが異常に発熱し発煙する恐れがあります。また、電動巻き上げ性能が低下することがあります。



取扱注意！



- 船上でコードの再接続をするときは、接続部に海水などの水分が付着していることがありますので、乾いた布でよく拭き取ってから、接続してください。

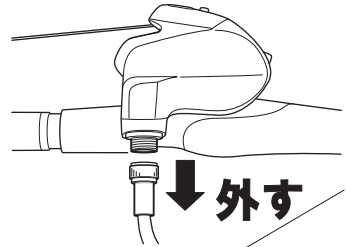
そのまま接続すると、ショートして、感電・発煙・発火の恐れがあります。



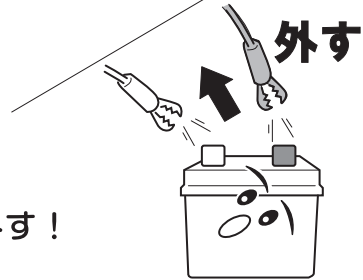
取扱注意！



- お手入れの際は、駆動を停止して、電源を抜いてから行ってください。不意に駆動して、けがをする恐れがあります。



電源を外す！



- 使用状況や保管状況によって、コードが断線、ショートなどの故障を起こし、発煙・発火に至る場合があります。『コード取り扱い上のご注意』、『コードのお手入れのしかた』、『その他お手入れ上のご注意』を必ずお守りください。なお、コードのお手入れは、電源を外してから行ってください。古いコードは断線、ショート等故障の原因となりますので、リールの性能を維持するためにも、2年での交換をおすすめ致します。



正しい取扱を！



安全上のご注意

⚠ 注意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 根掛かりしたときは、竿をあおらず糸を手にとって切るようにしてください。（手袋やタオルで必ず手を保護しましょう。）太いハリスをご使用になっている場合、手で持って切れそうもないと思われるときは、船長に相談して安全に対処してください。



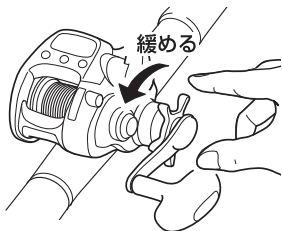
けがに注意！



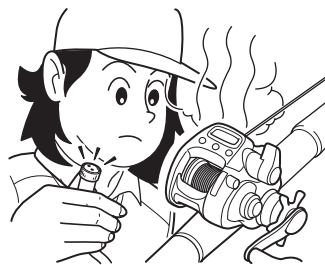
- 電源をつなぐ前に、必ずドラグを十分に緩めてから接続してください。IC故障時にモーターが回り放しになり、仕掛けを巻き込み、竿を破損する恐れがあります。



取扱の実施！



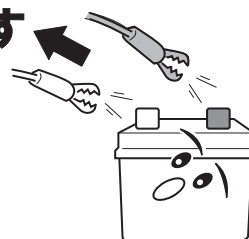
- こげくさいなど異常時には駆動を停止して、電源を外してください。発熱や発火の原因になります。



外す



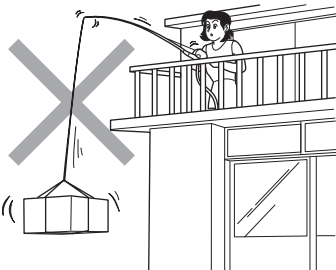
電源を外す！



- リールを釣り以外の目的で使用しないでください。



目的以外の使用禁止！



- リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。



取扱注意！



- 塗装やメッキなどの表面層あるいは素材の表面が剥れた場合は、その部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。



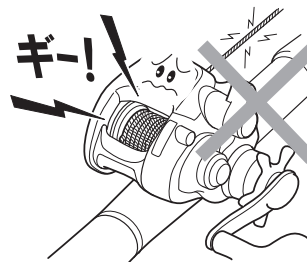
接触禁止！



- ワイヤーは、道糸として使用しないでください。スプールが腐食したり、破損したりすることがあります。



使用の禁止！



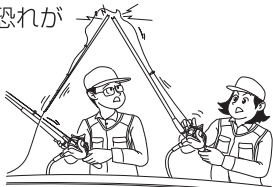
⚠ 注意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 他の釣り人と仕掛けが絡んだり、根掛かりしたときは、無理に巻かないでください。竿その他を破損する恐れがあります。



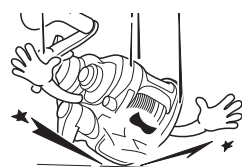
取扱注意！



- 落下などのショックにより破損あるいは内部電子部品の損傷、クラックによる浸水、基板短絡が生じ機能障害を起こします。強い衝撃や重圧が加わらないようご注意ください。（外観上には異常が見られなくても故障していることがあります。）



取扱注意！



- 分解・改良などはしないでください。リールの性能に不具合が生じたり、故障につながる原因となります。



改造の禁止！



- コードの改造はしないでください。ショートなどの故障を起こし、発煙・発火の恐れがあります。



改造の禁止！



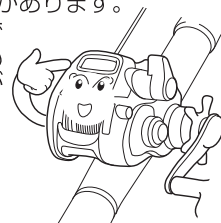
- 使用中で、カウンター表示がずれてきたり、道糸が切れたり、電源が外れたり、大きな張力変動があったりしたときは、カウンター表示の再設定を行ってください。

そのまま再度使用しようとすると、巻き込んで竿その他を破損する恐れがあります。

水面に仕掛けがある位置でのリセットを忘れた場合も同様のことが起こる恐れがあります。



操作の実施！



取扱上のご注意

電動リールの取扱いで特に注意していただきたい大切なことが記載されています。ご使用前に必ず、お読みいただくようお願い致します。

■マグシールド

「マグシールド」は磁性を持つ液体を利用することで、磁性を持つ液体の壁を作り、水の浸入をシャットアウトする画期的構造。滑らかな回転はそのままに、水、異物の浸入を抑えることで初期回転性能を長期間持続。イヤな塩ガミがなくなることで、長期間使用時の回転低下や異音を改善し、耐久性が大幅に向上。

■マグシールドボールベアリング

独自の技術により、ボールベアリングそのものをマグシールド化。磁性を持つ液体の壁によって、ボールベアリング内部への水、異物の浸入を抑えることで、ボールベアリング自体の錆、塩ガミ、異音を大幅に解消。



注意

- ・マグシールドボールベアリングそのものへの注油は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。
- ・分解作業は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。



注意

マグシールドボールベアリングの優れた防錆・防塵性能は、内部に封入された磁性を持つ液体（マグオイル）の壁により維持されております。

- ・マグオイルはやや多めに封入されている為、ボールベアリングの表面にマグオイルが滲み出ることがありますが、性能には影響ありません。（表面の滲み出たオイルは拭き取らないでください。）
- ・マグシールドボールベアリングを指や、布、綿棒等で触れたり、拭いたりすることは絶対におやめください。マグオイルが拭き取られることにより、マグシールド機能を損なう恐れがあります。

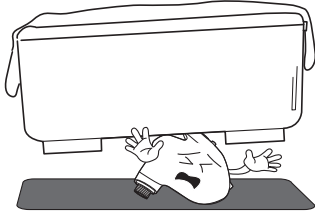
安全上のご注意

取扱上のご注意

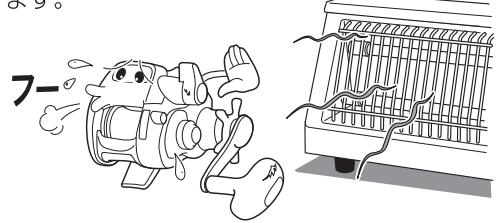
電動リールの取扱いで特に注意していただきたい大切なことが記載されています。ご使用前に必ず、お読みいただくようお願い致します。

⚠️ お願い

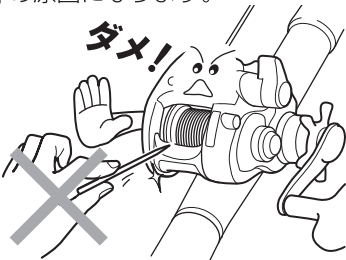
- リールの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。故障の原因になります。



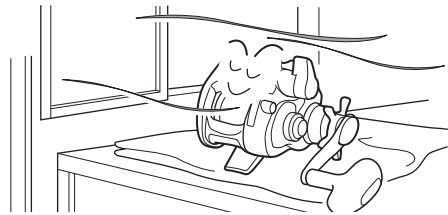
- 発熱器具のそばに置かないでください。樹脂が溶けて変形したり劣化して、故障の原因になります。



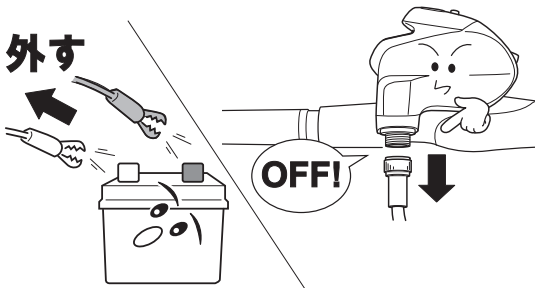
- スプールとフレームのスキマやその他本体のスキマに棒や金属物などを入れないでください。故障の原因になります。



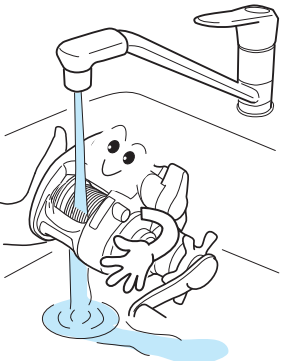
- リールを長期間収納するときは、水分を完全に切り、直射日光を避けなるべく通風性のよい場所に保管してください。また、ドラッグを緩めた状態で保管してください。



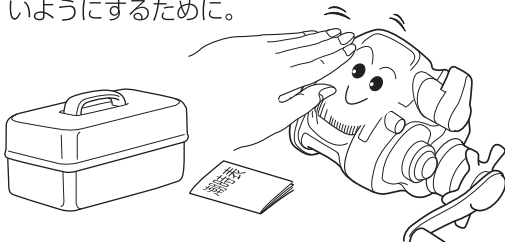
- 電源を外すときは、駆動を停止してから、行ってください。故障の原因になります。



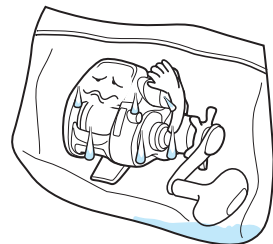
- 塩分を含んだ海水で道糸が湿った状態のまま保管するとスプールが腐食する恐れがあります。水道水を糸巻き部にあたるように掛けて海水を十分流してから通気性の良い直射日光のあたらない場所で乾燥させてから保管してください。



- 釣りにお出かけの前には、リールの点検（動作点検）を行ってください。故障によって、釣りに支障をきたすことのないようにするために。

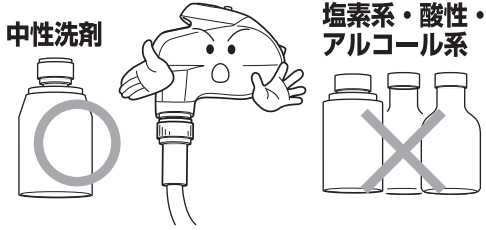


- 濡れたままビニール袋やバクタンなどで、リールを保管しないでください。錆や故障の原因になります。

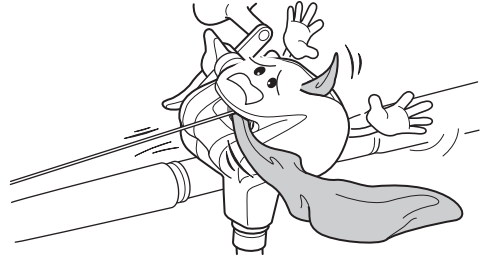


! お願い

- 電動リールを洗剤で洗うときは、中性洗剤を使用してください。塩素系、酸性及びアルコール系洗剤は使用しないでください。樹脂が劣化して、故障の原因になります。

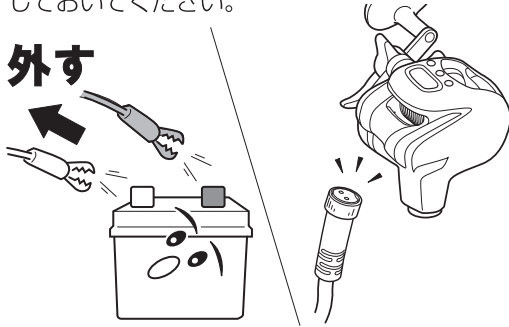


- 糸巻き中に布などが巻き込まれないように、ご注意ください。また、バックラッシュ等によりフケタ糸の巻き込みにもご注意ください。



- リールを使用しないときは、電源・コードを外しておいてください。

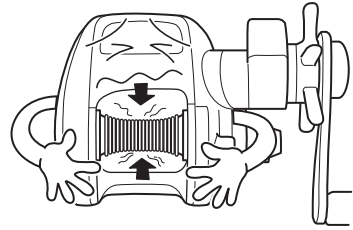
外す



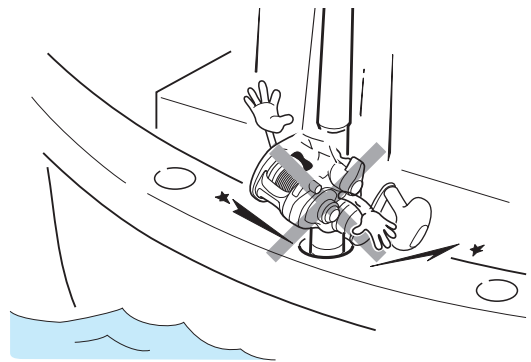
- 振り出しロッドを仕舞い込む際に、リールをつけたまま竿尻を床面等にトントン叩いて仕舞わないでください。リールが破損する恐れがあります。



- 水気を含んだ糸を強い張力で巻いた状態でリールを保管しないでください。保管時に糸が乾燥すると縮み、スプールを破損する恐れがあります。特に、PE専用機種には、ナイロン・フロロラインなどを巻かないでください。



- 船べりの穴へ竿にリールをつけたまま入れる場合は、船べりにリールが直接当たらないか確認してください。当たる場合は、穴へ入れることはおやめください。リールを破損する恐れがあります。



◆カウンター部について

①偏光ガラスの使用

②真冬（カウンターの表面温度-10℃以下）および真夏（カウンターの表面温度60℃以上）

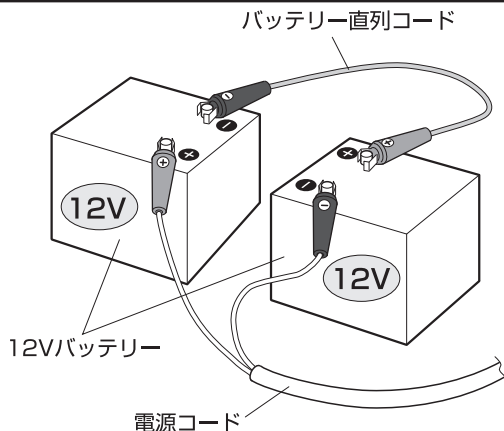
上記の場合には、液晶の特性上文字が見にくくなる場合がございます。ご了承ください。

③早朝や夕方など太陽光の入射角によって液晶表示の影が見えることがありますが異常ではありません。

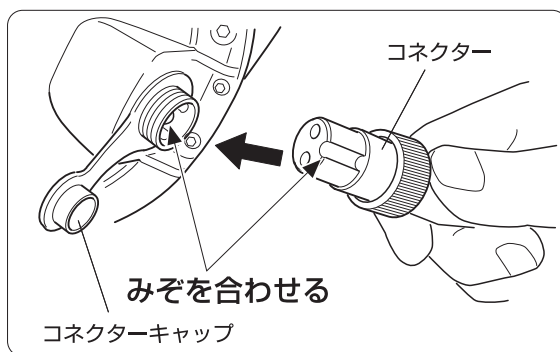
電源について

●電源のつなぎ方

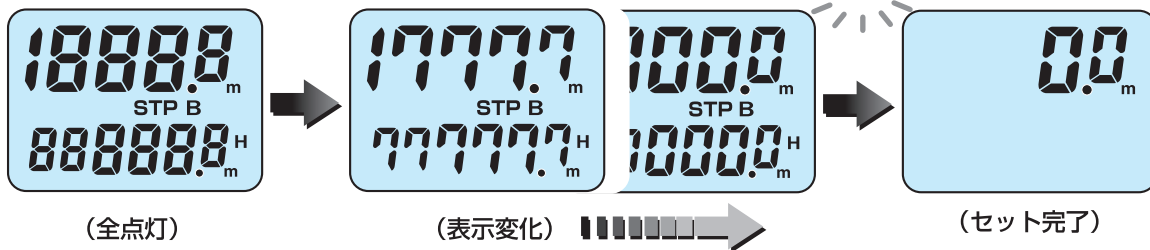
- 1.まず、12Vバッテリーを2個並べ、付属のバッテリー直列コードでプラス \oplus とマイナス \ominus を接続してください。残りの端子に電源コードを接続してください。クリップは赤いカバーのほうがプラス \oplus 、黒いカバーのほうがマイナス \ominus です。



- 2.次に、コネクタキャップを外し付属コードのコネクタとリール本体をつないでください。



※以上の手順が正しく行なわれると、下図のように表示変化したうえで、セットされます。



注意

- ・1度電源につなぐと、メモリーバックアップ(カウンター情報の保存)機能が働くため(最低15分間)、その後の電源との再接続時には、上記の表示変化がされないでセットが完了するケースがありますが、問題はありません。

●ブレーカーシステム

- ・モーターに過負荷がかかった場合、モーターを保護するためのブレーカーが働きます。作動中はアラームが鳴ります。(ブレーカーは最長30秒間作動し、自動復帰します。)

●メモリーバックアップ機構

不意にコードが外れても安心。カウンター情報をしばらく保存。つなぎ直せば元どおり。

- ・実釣中、コードがはずれるなどして、一時的に電源が切れても、最低15分間、電源が切れる寸前のカウンターパネル内の表示をICが記憶しています。ですから万が一、コードがはずれても、そのままコードへつなぎ直せば、カウンターパネル内の表示が再現され、再スタートできます。

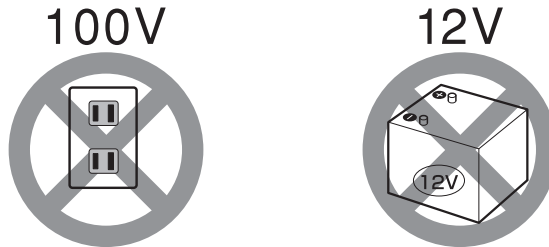
※モーター回転中の電源切れのときは、つなぎ直しても安全のため回転はOFFにされています。

●電源について

このリールは直流（DC）24V対応の電動リールです。指定外の電源（たとえば、家庭用の交流（AC）100Vなど）では使用できません。

また、船電源は、発電機や配線の関係で電圧が不安定になりやすいので、リールの保護回路が働いて回転が停止したり、断続的になってしまうことがあります。

リールの性能を十分に発揮させるためにも、当社製エナジーパックなどの、電動リール専用バッテリーをご使用ください。



注意

※ 出発前によく確かめてください。

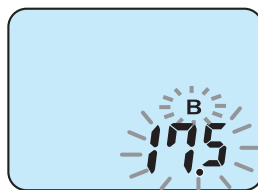
1. バッテリーは、長時間放置されると自然放電（残量低下）している可能性があります。釣行前には、必ず充電を行なってください。
2. 船の電源は、電圧、接続端子の形状などにより使用できないことがあります。事前にご確認することをおすすめします。
 - ・ 端子のサビなどによりリールが正常に作動しない場合があります。サビなどは取り除いてご使用ください。

●バッテリーチェック表示について

通電時（巻上げ中または巻上げストップ時）に、電源電圧がDC18V以下になると、底からカウンター（下のカウンター）に電源電圧と「B」マークが点滅表示されます。

モーター回転がストップしているときにこの表示が点滅している場合、バッテリー残量の減少による電圧低下が考えられます。

そのときには、バッテリーを充電したものと交換してください。（船電源をご使用の場合は、電源の電圧や端子をチェックしてください。）



※ 図では、電圧が17.5Vしかないことを示しています。

お手入れ方法

● リールのお手入れについて

このリールは水洗いできる「洗える電動リール」です。釣りが終わった後で汚れなどをきれいに洗い流してください。

● お手入れ方法

1. 中性洗剤を含ませた、柔らかいスポンジなどでリール本体を洗い、汚れを落とします。

※汚れがひどい場合に使う洗剤は、中性洗剤のみを薄めて使用してください。

推奨洗剤：リール用洗剤 爽快釣行リールウォッシュ
(商品コード：04920379)

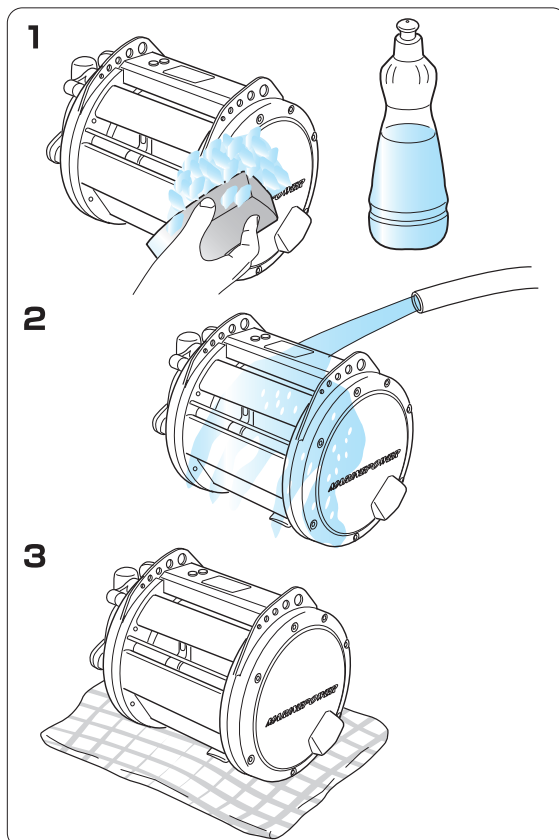
※使用量目安：水1ℓに対して1.5ml

液体(薬用)石鹼など石鹼類及び弱アルカリ性など中性以外の洗剤のご使用はおやめください。故障の原因になることがあります。

2. 水をかけて洗剤と汚れをよく落とししてください。スプール部にもよく水をかけて塩分を落とししてください。

※給湯器をご使用の際は、温度設定を30℃以下としてください。

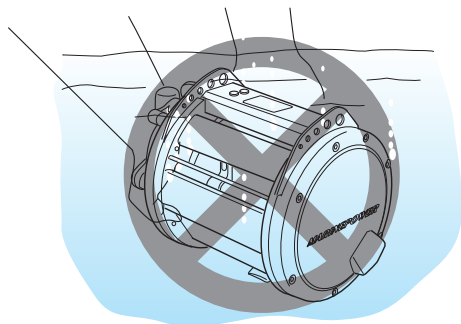
3. よく水を切り、陰干ししてください。



- ・水の中につけて洗うことは絶対にしないでください。
- ・ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- ・リール本体に傷が付きますので、みがき粉、タワシ、スチールタワシなどは絶対に使用しないでください。

・市販の防錆潤滑剤等の使用は、結果的にボールベアリング、ギヤー等の耐久性を損なう恐れがございますのでおやめください。作動部の注油は、ダイワリールガードグリスをご使用ください。

・リールを末永く快適にご使用になるためにも、年に一度程度は当社アフターサービスセンターへオーバーホールに出されることをおすすめいたします。(有料)



●コード取扱い上のご注意・コードのお手入れについて

コードの断線等によるトラブルをさけるために必ず守ってください。

※コードを改造することはおやめください。思わぬ故障の原因となります。コードは大切にしてください。

- ・コードを持ってリールをぶらさげることは、おやめください。
- ・リール本体にコードを差し込んだまま本体にぐるぐる巻き付けることは、おやめください。
- ・コードを水洗いすることは、おやめください。
- ・コードの上に重い物を乗せたり、コードを結んでしまうような行為は、おやめください。

●コードのお手入れのしかた

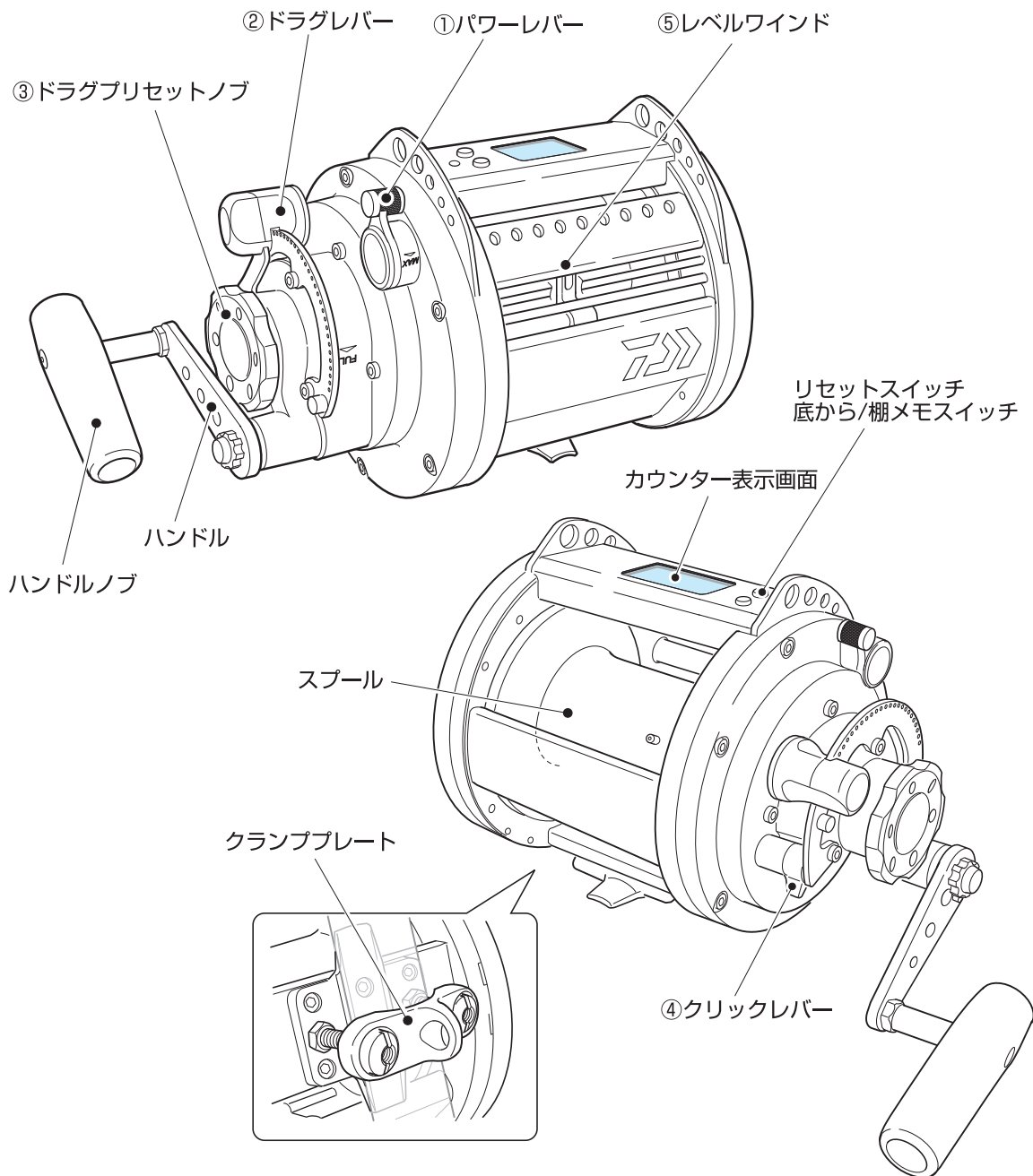
- ・ご使用後は、水道水または温湯で浸した柔らかい布で、外観部の汚れを拭き取り、よく乾かしてください。
- ・特に、ワニグチクリップは、カバーを外して、完全に乾かしてください。
- ・乾燥後は、コネクター部の注油を行なってください。
- ・リールのコードは、本体から外して保管してください。

●その他お手入れ上のご注意

- ・コードを抜くときは、必ずコネクター部を持って抜いてください。
- ・A (ピン)、B (外周部) に注油してください。

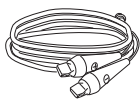
- ・このリールは電気回路、モーターなどの精密な部品を内蔵しておりますので、お客さまご自身での分解組み立ては極めて困難です。おやめください。
- ・コネクター部保護のため、リールをご使用にならないときは防護用コネクターキャップでフタをしてください。
- ・古いコードは断線、ショート等故障の原因となりますので、リールの性能を維持するためにも、2年での交換をおすすめ致します。

各部の名称と機能



■付属品

コード



リール袋



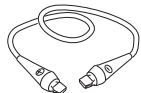
取扱説明書



クランププレート・ナット



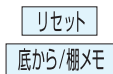
バッテリー直列コード



保証書



シール



糸通しピン

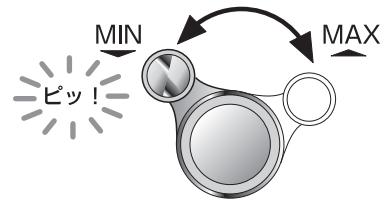


ドライバー



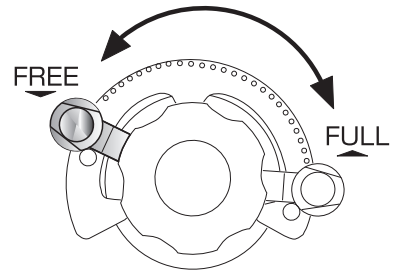
①パワーレバー

- ・レバー操作により巻上げパワー（スピード）が、MIN～MAXまで自由自在に変速することができます。
- ・レバーを前に倒すと、パワー（スピード）アップします。レバーを元に戻せば、パワー（スピード）ダウンします。
- ・巻上げを開始するとき、パワーレバーがMINの位置にないときは、レバーを一度MINの位置まで戻して（MINの位置でアラームが鳴ります）から、レバーを前に倒して巻上げを開始してください。
- ・べんり機能設定画面での数値の設定はパワーレバーで行います。
- ・パワーレバーをMAXにすると数値は上がります。
- ・パワーレバーをMINにすると数値は下がります。



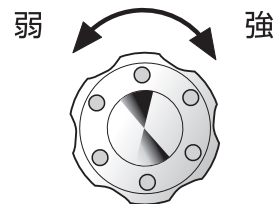
②ドラグレバー

- ・レバーを手前に引くとスプールがフリーになります。
- ・レバーを前方へ押しとドラグ力が高くなります。
- ・ドラグ最大からフリーへの操作がワンタッチレバー操作で可能です。



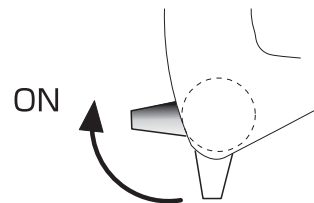
③ドラグプリセットノブ

- ・ドラグレバーをフリー位置にして、仕掛けがスムーズに落ちるようにドラグプリセットノブを調整してください。
- ・プリセットを締めるとドラグ力が高くなります。
- ・プリセットを締めすぎるとフリーにならないのでご注意ください。
- ・実釣中にドラグ力の微調整が必要な場合、ドラグレバーでも可能ですが、ドラグプリセットノブで調整するとより微調整ができます。



④クリックレバー

- ・クリックレバーをONの位置にスライドするとスプール回転時クリック音が出ます。



⑤レベルwind

- ・レベルwindの穴に糸を通します。糸がスプールに平行に巻けます。



注意

- ※レベルwind機構は、その作動クリアランスにより、糸巻き状態に若干の片寄りが見られる場合があります。
- ※レベルwindから糸を巻き込んでスピールの糸とレベルwindの位置がズレてしまうと、仕掛け落下時抵抗になりますので、巻き込みにはご注意ください。
- ※レベルwindにスイベルを巻き込むと傷や破損の恐れがあります。仕掛けの巻き込みにはご注意ください。

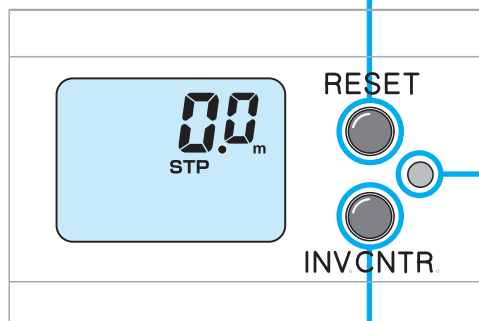
スイッチの名称と働き

RESET (リセット)

RESET スイッチ を押すと、上のカウンター（水深カウンター）が **0.0** m になります。

※釣りを始める前に、**RESET** スイッチ を必ず1度押してください。スイッチを押した点を基準に、船べり自動停止位置が設定されます。（画面に **船止** の表示が出ます。）

・**RESET** スイッチ は誤操作防止のため、10m以上では、5秒押しとなっております。



巻上げ表示ランプ

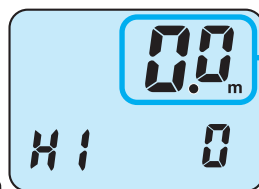
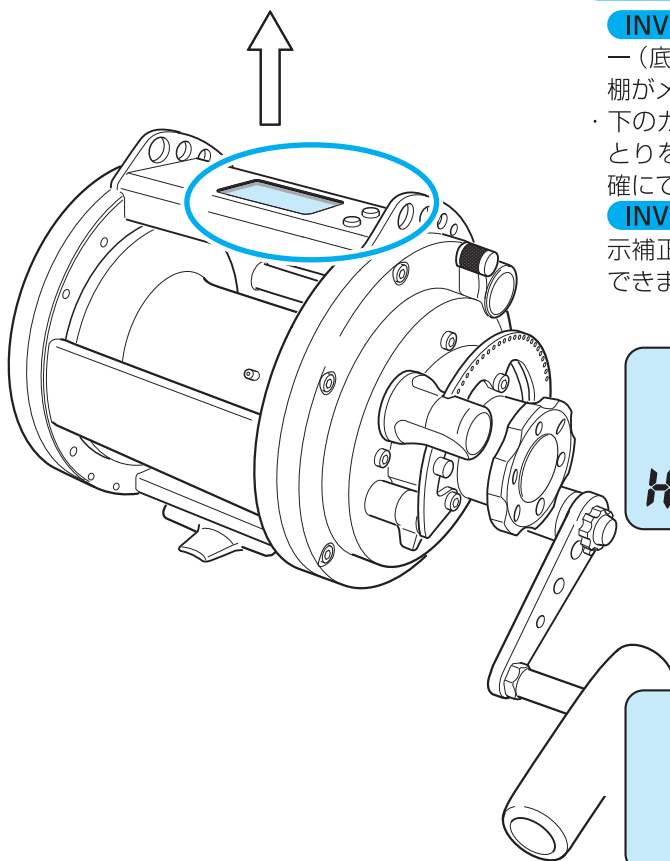
- ・電動での巻上げ中はランプが点灯します。
- ・ブレーカーが間もなく作動する状態になるとゆっくり点滅します。
- ・ブレーカーが作動するとランプが点滅します。

INV.CNTR (底から/棚メモ)

INV.CNTR スイッチ を押すと、下のカウンター（底からカウンター）が **0.0** m となり、狙いの棚がメモリーされます。

・下のカウンター（底からカウンター）を見ながら棚とりを行えるので、誰でもかんたんに、しかも正確にできます。

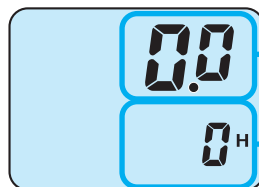
INV.CNTR スイッチ を3秒以上押し続けると表示補正→総実釣時間/総巻上長さを確認することができます。



※上のカウンターの数字は、その時の水深になります。

表示補正画面

INV.CNTR スイッチ

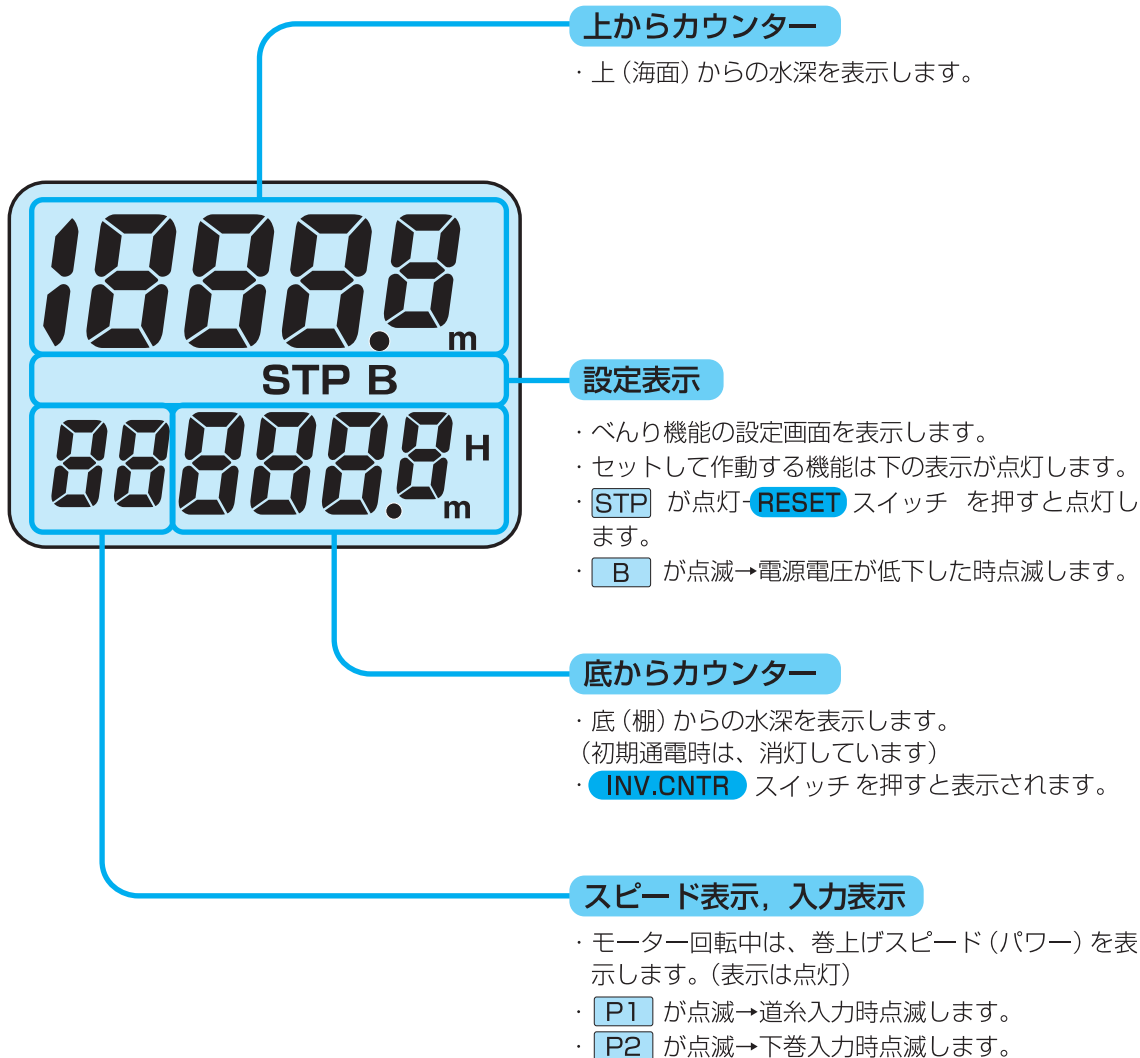


総巻上長さ (km)

実釣総時間 (H)

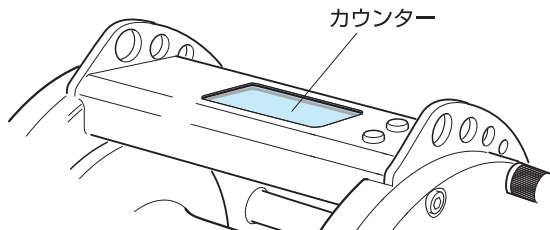
INV.CNTR スイッチ

水面画面



■カウンター部について

- ・ 偏光ガラスの使用時。
- ・ 真冬（カウンターの表面温度-10℃以下）および真夏（カウンターの表面温度60℃以上）
上記の場合には液晶の特性上文字が見にくくなる場合がございます。ご了承ください。
- ・ 急激な温度変化を与えると、一時的にくもる場合がありますが異常ではありません。



道糸をリールに巻きます

■入力画面にしてから、最後に巻いた糸の長さをセットする入力方法です。

1. 道糸をレベルウィンドに通してスプールに結んでください。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンを利用して巻きつけてください。

2. パワーレバーをMINまで戻します。

3. ワニグチクリップを電源 (DC24V) につなぎます。

4. コードコネクターをリール本体に取り付けます。

※接続方法についてはP.2電源とのつなぎ方を参照ください。

5. 表示 **0.0** のときに、**INV.CNTR** スイッチを5秒以上押し続けてください。

(表示補正画面になりますが **INV.CNTR** スイッチ を押し続けてください。)

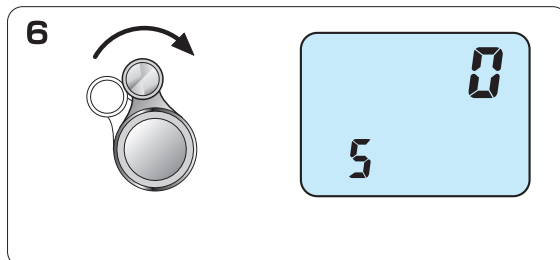
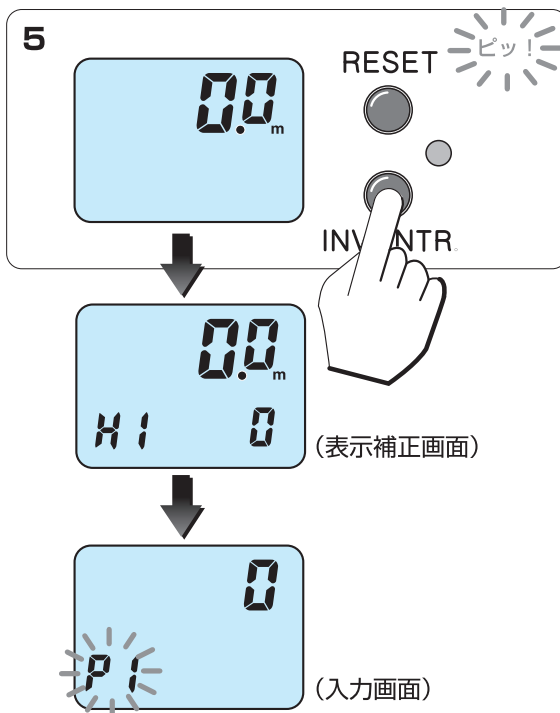
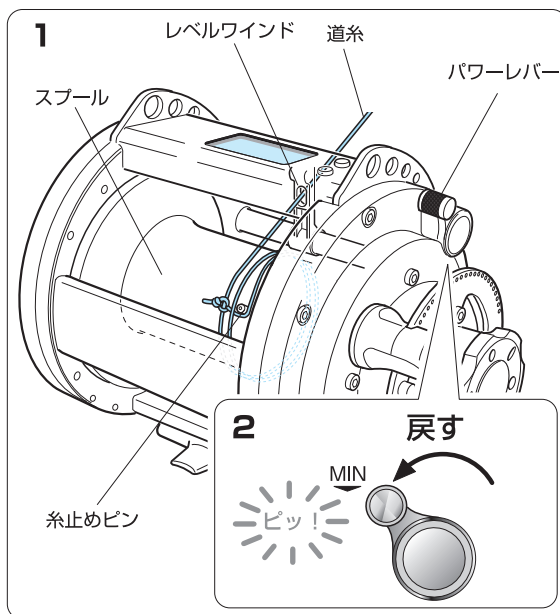
P1 と点滅表示されます。

6. パワーレバーを倒して道糸を巻きます。

(パワーレバーを倒すとテンション表示に変わります。)

パワーレバーMAXの場合にパネル左下の数字が、5～7になるようにテンションを調整して巻いてください。

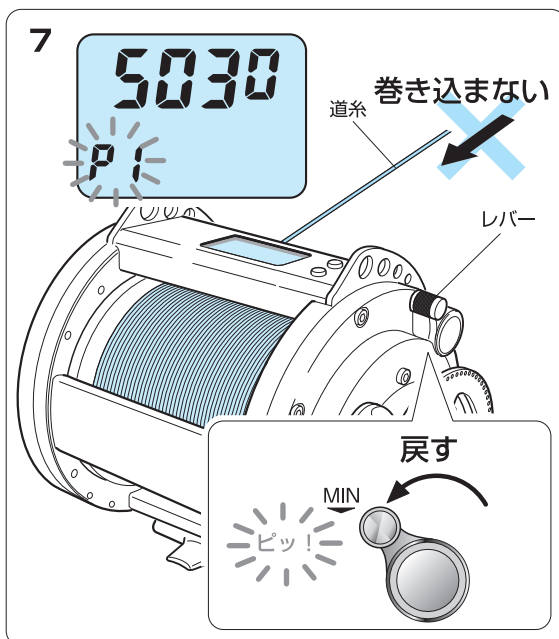
※MAXで巻かない場合は少し低いテンションで巻いてください。



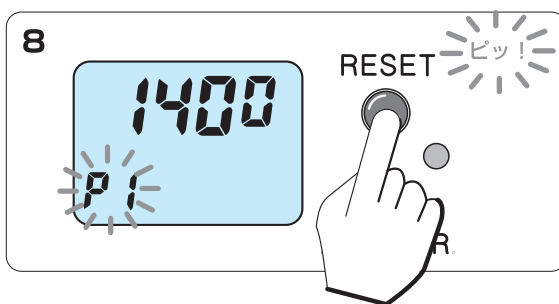
7. 巻き終わったらパワーレバーをMINの位置まで戻します。(アラーム音)

注意

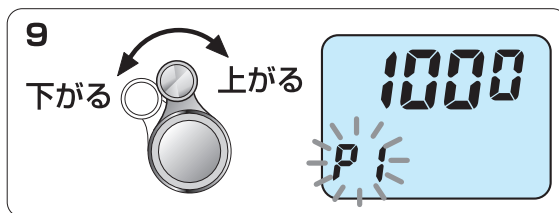
・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをMINの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。



8. **RESET** スイッチ を2秒以上、表示が1400になるまで押してください。



9. パワーレバーで道糸の長さをセットします。(図は1000m入力した場合です。)

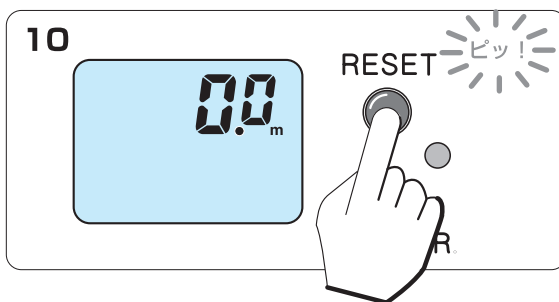


10. **RESET** スイッチ を2秒以上押してください。

(アラーム音が鳴り、表示が0.0になれば完了です。)

※ Err になった場合は、再度入力をやり直してください。

※糸長が短すぎる場合、入力できないことがあります。



注意

・糸を全部巻き込まないようにしてください。巻き込みますと、レベルウィンドとの位置がズレてしまい、仕掛け落ちが遅くなる原因になります。

下巻き入力もできます

■ただし長さのわかる道糸が200m以上必要です。

1.下巻となる道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

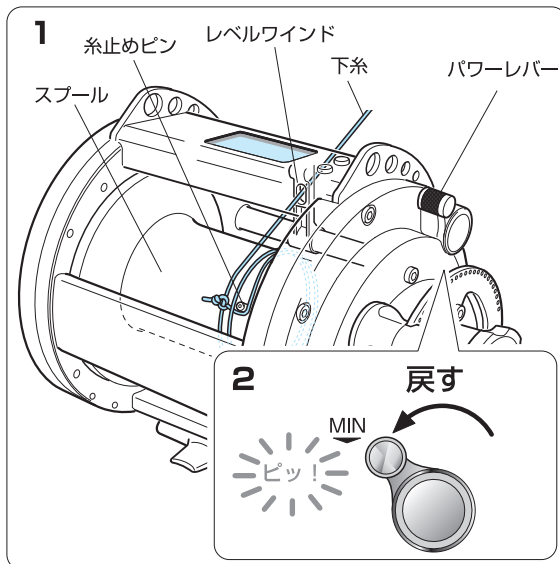
※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンを利用して巻きつけてください。

2.パワーレバーをMINまで戻します。

3.ワニグチクリップを電源(DC24V)につなぎます。

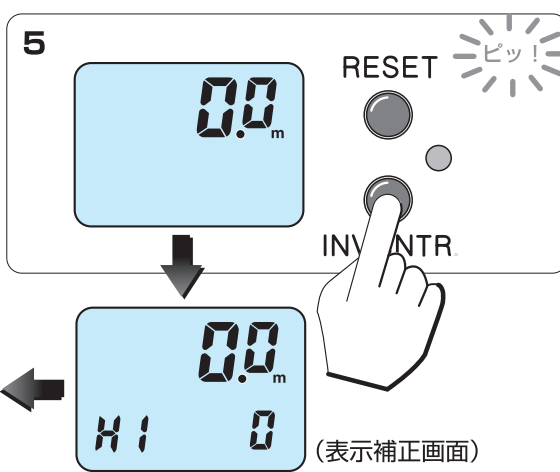
4.コードコネクターをリール本体に取り付けます。

※接続方法についてはP.2電源とのつなぎ方を参照ください。



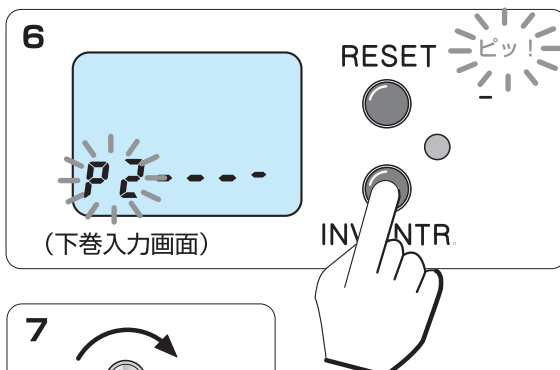
5.表示 **0.0** のときに、**INV.CNTR** スイッチを5秒以上押し続けてください。

(表示補正画面になりますが **INV.CNTR** スイッチを押し続けてください。)



6.入力画面になったらもう一度 **INV.CNTR** スイッチを押して下巻き画面にしてください。

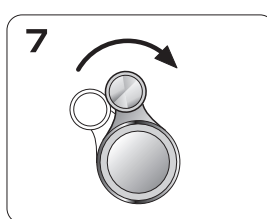
P2 と点滅表示されます。



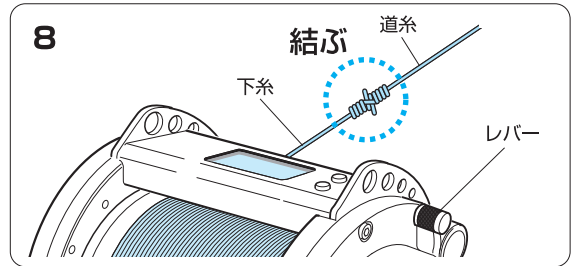
7.テンションをかけながら下巻き糸を最後まで巻いてください。

パワーレバーMAXの場合にパネル左下の数字が、5～7になるようにテンションを調整して巻いてください。

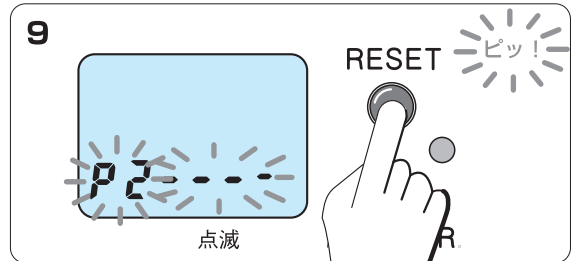
※MAXで巻かない場合は少し低いテンションで巻いてください。



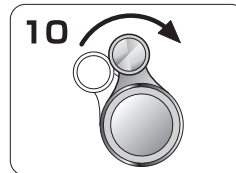
8.上糸をしっかり結びます。



9. **RESET** スイッチ を押してください。

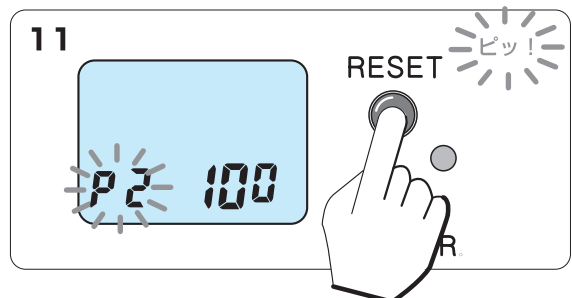


10.テンションをかけて残り200mになるまで道糸を巻いてください。



11. **RESET** スイッチを2秒以上押してください。

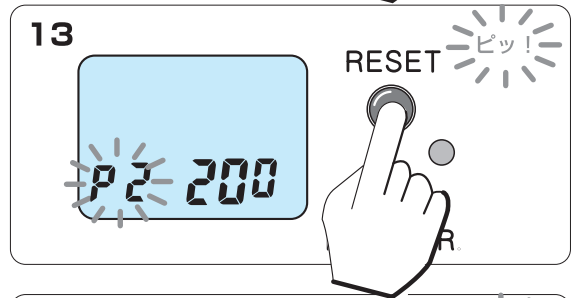
下の数字が **100** になります。



12.糸色に注意しながら残り100mになるまで巻いてください。

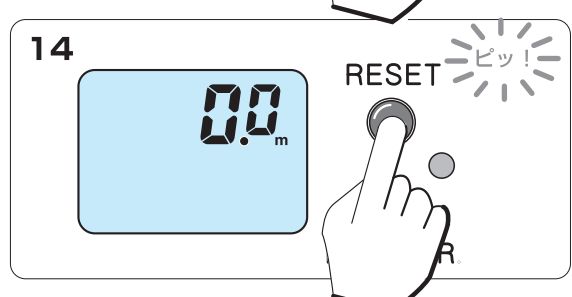
13. **RESET** スイッチを2秒以上押してください。

下の数字が **200** になります。



14.最後の100mを巻き、**RESET** スイッチを2秒以上押してください。

表示が **0.0** mになります。これで完了です。



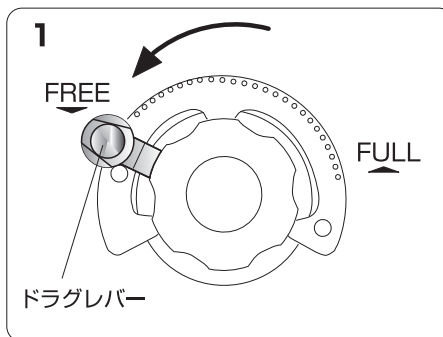
注意

- 糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でパワーレバーをMINの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因にもなります。

釣りを始める前に

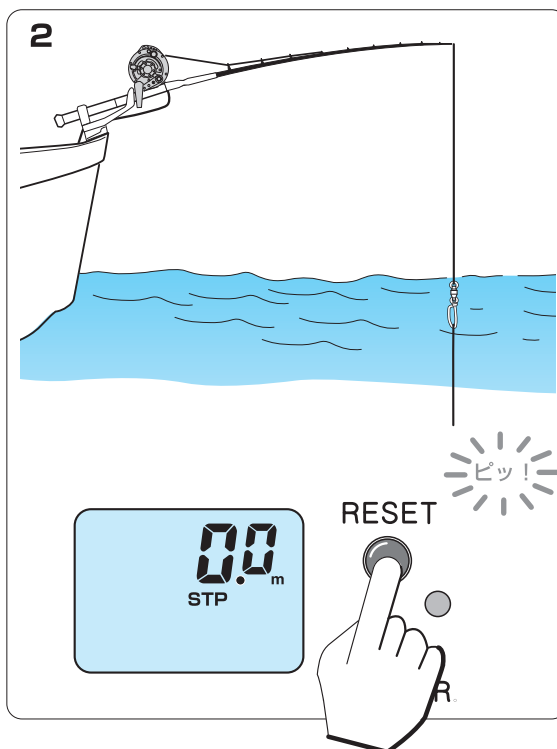
■水面ゼロ設定 釣りを始める前に必ず行ってください。狙った水深に正確に仕掛けを投入することができます。

- 1.コードをつなぎ、ドラグレバーをFREEにして糸を出し、仕掛けをセットします。



- 2.竿を出し、仕掛けを下ろし、水面に目印があるときに **RESET** スイッチ を押します。

表示が **0.0** mになります。



注意

- ・新しい糸を巻いたときや、大物を掛けたときは糸の伸びにより船べり停止位置がずれることがあります。そのときは再度水面0セット（手順2）を行なってください。
- ・道糸が切れてしまった場合は再度水面0セット（手順2）を行なってください。水深10m以上では、誤操作防止のため、リセットスイッチは5秒押しとなっております。

機能設定 (船べり自動停止)

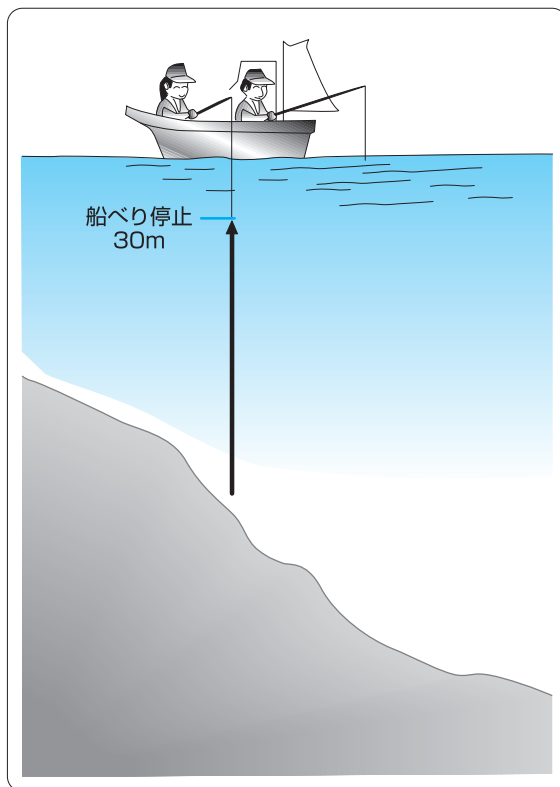
■仕掛けを巻き込んで竿先を折る等の危険防止のため、電動巻上げが自動で止まる船べり自動停止機能が付いています。

・繰り出した水深に関わらず30mで停止します。

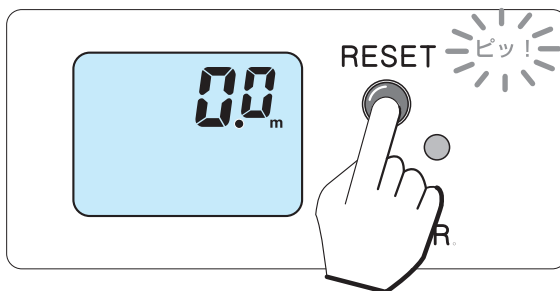
※前回の巻上げ時と大きなテンション変動があった場合に、大きく糸が残ったり、仕掛けを巻き込んで竿を破損する恐れがありますのでご注意ください。

また、その際は再度水面0セットを行ってください。

※水面0設定についてはP.14を参照ください。



・船べり停止後は、パワーレバーを操作することにより、カウンター 0.0 mまでは巻上げますが、カウンター 0.0 m後は、誤操作による竿巻込み防止のため **RESET** スイッチ を押さない限り、パワーレバーでは巻上げしません。

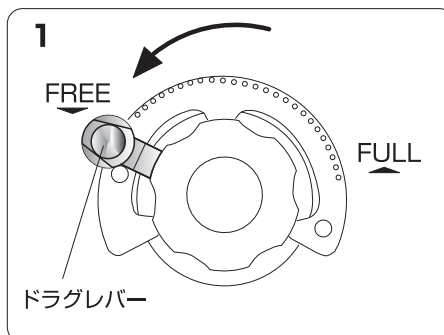


機能設定 (底からカウンター)

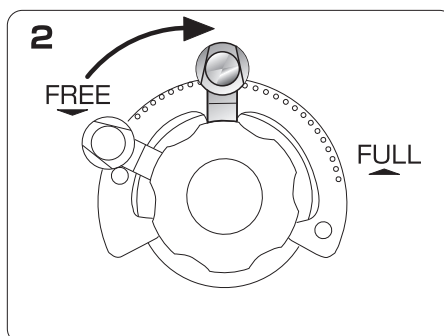
■上からも底からも測れる2つのカウンターが棚を両面攻撃。

水深100m、底から6mで釣りをする場合を例にします。

1. ドラグレバーをFREEにして仕掛けを投入します。

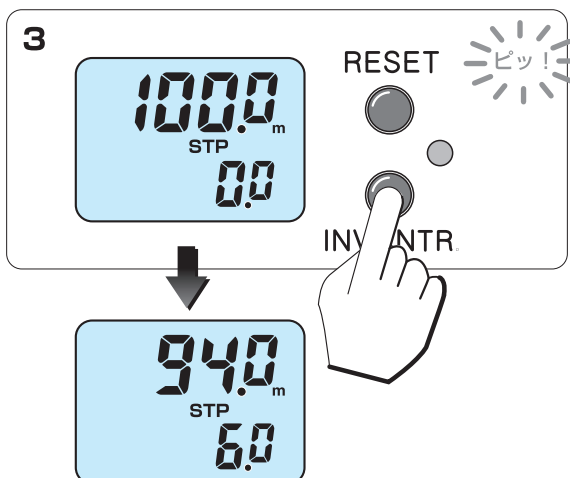


2. 着底したら、ドラグレバーをセットします。



3. 糸ふけを巻き取り底取りをしてから、**INV.CNTR** スイッチを押し、棚までの距離 (例: 下から6m) を巻上げます。

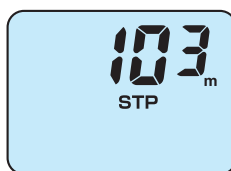
※ **INV.CNTR** スイッチ を押すと、下のカウンター表示が **0.0** mになりますので、カウンターを見ながら必要なだけ巻上げてください。



機能設定（べんり機能（表示補正モード））

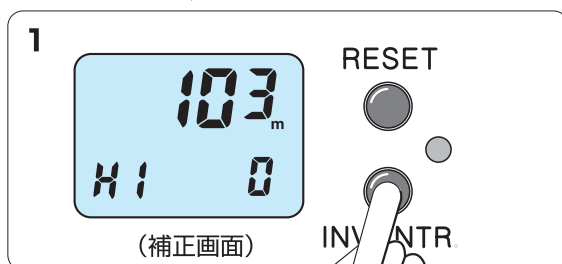
■カウンターの表示が糸色に対してズレてきた時補正することができます。

（例）糸色ではちょうど100mに対しカウンターの表示103mを、糸色100mに合わせ補正する場合。



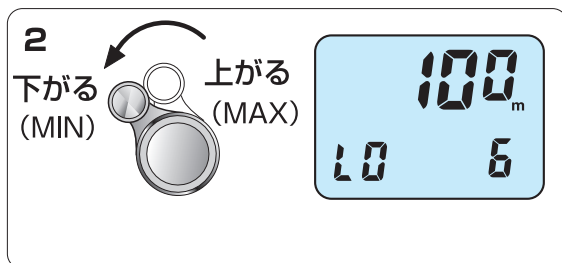
1. **INV.CNTR** スイッチを3秒押します。

（補正画面になります。）



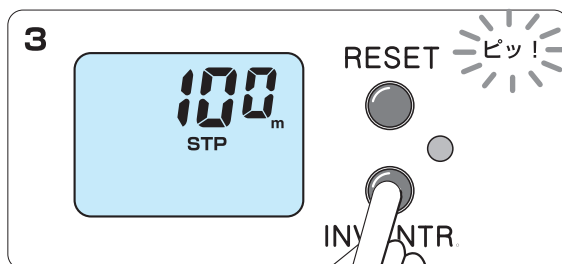
2. パワーレバーを、上のカウンターが100になるまで手間 (MIN) に戻してください。

※下がりすぎてしまった場合は、MAXにすれば数値は上がります。



3. 100にセットできたら **INV.CNTR** スイッチを2度押します。

水深画面に戻れば完了です。

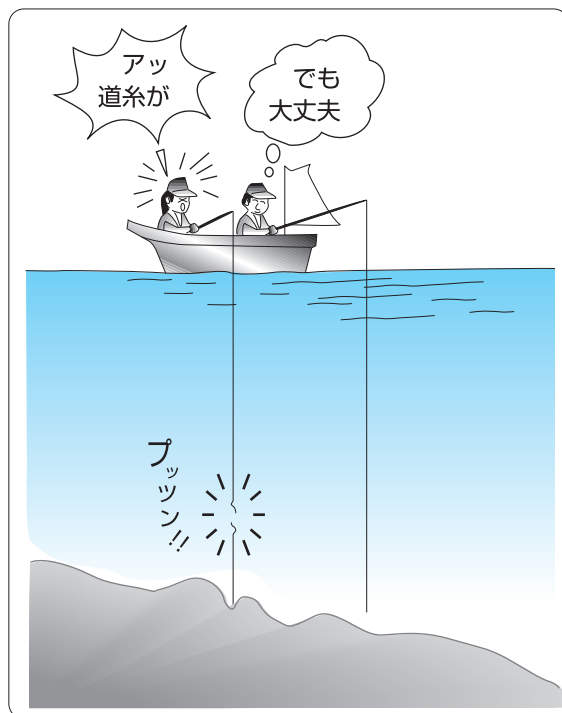


※補正画面の時、**RESET** スイッチ を押せば、元の表示に戻ります。

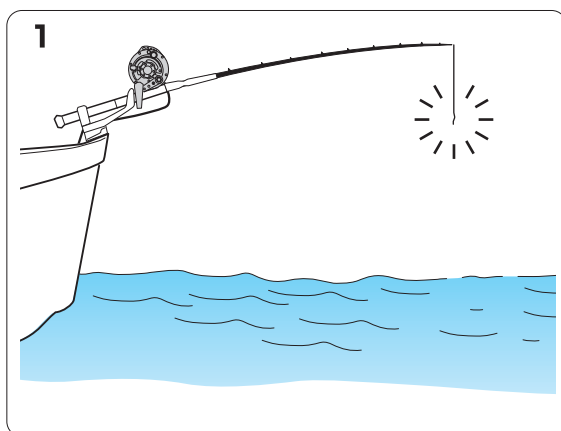
機能設定 (道糸データ修正)

■釣り場で道糸が切れてもデータ修正一発！！

水中で道糸が切れてしまった。！

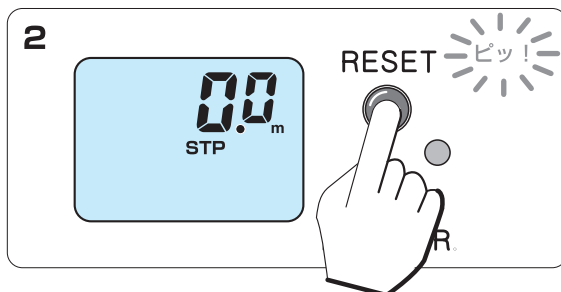


1.切れた道糸の先端を竿先まで巻きます。



2.リセットスイッチをカウンターの数字が **0.0** mになるまで約5秒間押し続けます。

この状態になれば完了です。



その他のべんり機能

●いろいろなアラーム

船べり、棚メモリー・・・さまざまな情報を音でお知らせ。いろいろなアラーム。

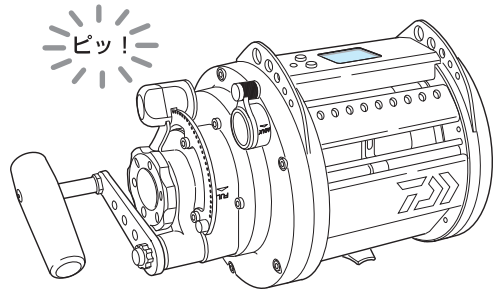
・パワーレバーアラーム

- ・パワーレバーのMAXの位置と、MINの位置をアラーム音でお知らせします。

・スイッチアラーム

- ・各スイッチを押すと、アラーム（ピッ）が鳴り、スイッチが確実に押されたことを音で確かめられます。

※すべてのスイッチ、いずれを押してもアラームが



・船べりお知らせアラーム

- ・仕掛けが船べりにだんだん近付いて来るのをお知らせします。
- ・船べり停止20m手前より10mまで5m間隔、残り8m手前より2m間隔でピッ、船べり停止位置でピーッと鳴り、仕掛けが船べりにだんだん近付いて来るのをお知らせします。

・棚メモリーお知らせアラーム

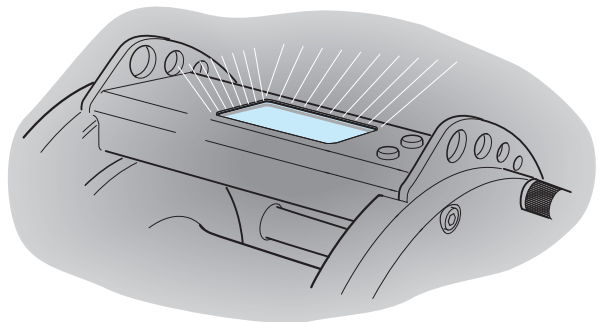
- ・仕掛け投入中、メモリーした棚の6m手前より2m間隔でピッ、メモリーした棚ではピーッと鳴り、メモリーした棚にだんだん近付いて行くのをお知らせします。
- ※棚さぐり時に頻繁にアラームが鳴らないように、棚メモリーお知らせアラームはメモリーした棚より6m以上巻上げてから、再度糸を出さないと鳴らないようになっています。

・過電圧警告アラーム

- ・電源電圧がリールの使用可能範囲より高いとき、連続アラーム音を発し、警告します。ただちにその電源の使用をおやめください。

●カウンターランプ

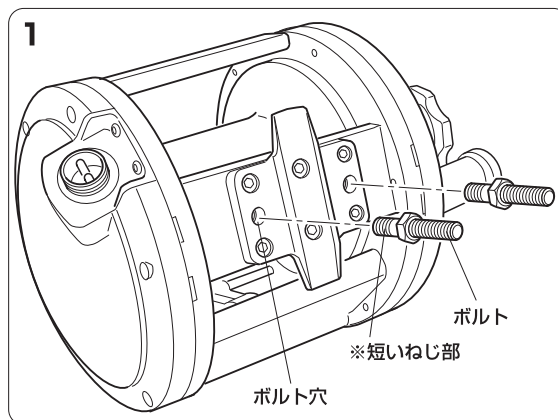
- ・通電中はいつもカウンター内のランプがついていますので、朝早い出船や夜釣りのときも、カウンターパネルはくっきり見えます。



ロッドクランプ取り付け方法

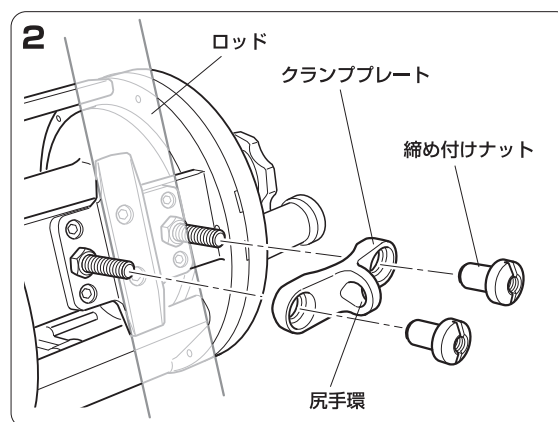
1. リール下のボルト穴にボルトを取り付け、六角部をスパナでしっかり締込み固定します。

※ボルトの短い方を取り付けます。長い方を締込むとスプール回転部へねじ部が出て、けがやトラブルの原因となります。



2. リールをロッドにセットし、ロッドをはさみこむように、ロッドの下からクランププレートをあてて締め付けナットで固定します。

※船上からの落下防止のために、尻手環に尻手ロープをつないでおくことをおすすめします。



仕様一覧

製品コード		00801293			
ギヤー比 (手動時)		1.7			
標準自重 (kg)		5.5			
最大ドラグ力 (kg) [スプール最小径の場合/最大径の場合]		90/50			
標準巻糸量 (m)	号	ブライト	号	ナイロン	
	10	1600	20	1100	
	12	1400	24	900	
	15	1100	30	700	
	30	600	50	430	
ボールベアリング入数		16			
電源電圧		DC24 V			
巻上力 ※1		0.0 kg			
常用巻上げ速度 (2kg負荷時) ※2		90 m/分			
無負荷時巻上げ速度 (パワーレバーMAX)		100 m/分			
電流 (A)	無負荷時	4			
	定格	6			
	最大	18			
変速機能	無負荷時	0~100 m/分 (無段階変速)			

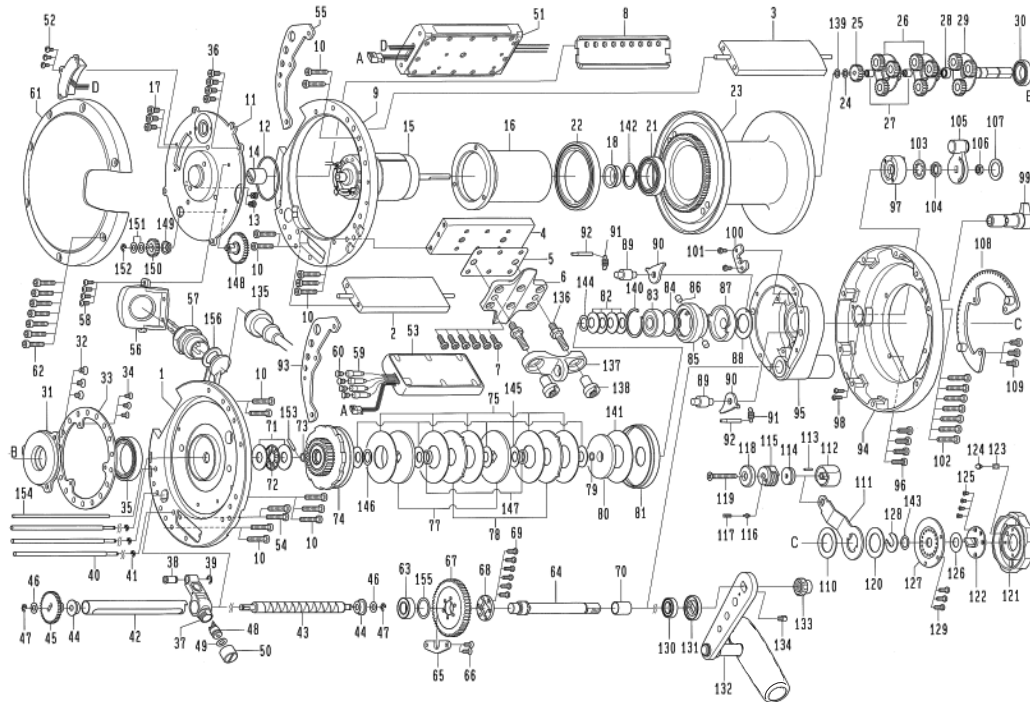
※1：巻上力=電源電圧24Vにおける測定値です。

※2：常用巻上速度=2kg負荷時の100m巻上げ速度の平均。

[注意] 船電源によっては十分に性能が発揮できない場合があります。

展開図

マリンパワー-3000-24V



No.	部品名	No.	部品名	No.	部品名	No.	部品名
1	RSセットアレート	43	ウオームシャフト	84	ドラクカムSC	124	フリセットノブ クリックピン
2	パ-ミングアレート(A)/ネム	44	ウオームシャフトカラー	85	ドラクカム(A)	125	フリセットノブ メタルSC
3	パ-ミングアレート(B)	45	ウオームシャフトキー	86	ドラクカムピン	126	フリセットノブ メタルW
4	スタンドアレート(A)	46	ウオームシャフトW	87	ドラクカム(B)	127	フリセットノブアレート
5	スタンドアレート(B)	47	ウオームシャフトリテーナー	88	ドラクカムW	128	ドラクカムリテーナー
6	スタンド	48	ポール	89	ストップ-ピン	129	フリセットノブアレートSC
7	クランプ SC(ショート)	49	ポールW	90	ストップ-	130	バンドルボ-ルバアリング
8	フィンガード	50	ポールホルダーナット	91	ストップ-SP	131	バンドルカラー
9	LSリング	51	ICギョール	92	ストップ-SPピン	132	バンドル
10	スタンドアレートSC	52	スプ-ルセッサーSC	93	ICアロクタブアレート	133	バンドルナット
11	LSセットアレート	53	モーターバ-ワモジョール	94	RSアレート	134	バンドルナットSC
12	セットアレートモーターリング	54	バ-ワモジョールSC	95	RSセットアレート	135	コード
13	モーターコードパッキン	55	ICアロクタブアレート	96	RSセットアレートSC	136	クランプ SC(ロング)
14	モーターメタル	56	レセアタルホルダー-	97	バ-ワホルダーカラー	137	ロッドクランプ
15	モーター	57	レセアタル	98	バ-ワホルダーカラーSC	138	クランプナット
16	モーターホルダー-	58	レセアタルホルダー-SC	99	クリックレバ-	139	スプ-ルキーバ-W(B)
17	モーターホルダー-SC	59	バ-ワモジョールコードカバー-(A)	100	クリックレバ-アレート	140	ドラクカムリング
18	モーターパッキン	60	バ-ワモジョールコードカバー-(B)	101	クリックレバ-アレートSC	141	ドラクカムパッキンW
21	スプ-ルボ-ルバアリング (A)	61	LSアレート	102	RSアレートSC	142	モーターホルダーアレートバアリング W
22	モーターホルダーボ-ルバアリング/CRBB	62	LSアレートSC	103	バ-ワホルダーカラーW	143	ドラクカムリテーナーW
23	スプ-ル	63	キーシャフトボ-ルバアリング	104	バ-ワホルダーカラーナット	144	ドラクカムパッキンW
24	スプ-ルキーバ-W(A)	64	キーシャフト	105	バ-ワホルダー-	145	ドラクカムテ-イクSP-W
25	スプ-ルキーバ-	65	キーシャフトリテーナー	106	バ-ワホルダーナット	146	ドラクカムホルダーW
26	モーターキーバ-(A)	66	キーシャフトリテーナーSC	107	バ-ワホルダーナットカバー-	147	ドラクカムテ-イクカラー
27	モーターキーバ-(A)バアリング	67	ドラクカムキーバ-	108	ドラクカムリバ-アレート	148	アイドルキーバ-(A)
28	モーターキーバ-(B)ボ-ルバアリング	68	ドラクカムキーバアレート	109	ドラクカムリバ-アレートSC	149	アイドルキーバカラー
29	モーターキーバ-(B)	69	ドラクカムキーバアレートSC	110	ドラクカムリバ-W(A)	150	アイドルキーバ-(B)
30	モーターキーバボ-ルバアリング	70	キーシャフトカラー	111	ドラクカムリバ-	151	アイドルキーバ-W
31	スプ-ルホルダーアレート(A)	71	ドラクカムホルダーバアリング W	112	ドラクカムノブ	152	アイドルキーバリテーナー
32	スプ-ルホルダーアレート(A)SC	72	ドラクカムホルダーバアリング (A)	113	ドラクカムノブピン	153	ドラクカムホルダー-ピン
33	スプ-ルホルダーアレート(B)	73	ドラクカムホルダー-オリング (A)	114	ドラクカムノブW	154	ボ-スト(B)
34	スプ-ルホルダーアレート(B)SC	74	ドラクカムホルダー-	115	ドラクカムノブメタル	155	キーシャフトボ-ルバアリング W
35	スプ-ルボ-ルバアリング (B)/CRBB	75	ドラクカムW	116	ドラクカムノブメタルピン	156	コネクタキャップ
36	LSセットアレートSC	76	ドラクカムテ-イクW	117	ドラクカムノブメタルピンSP	200	マニュアル
37	バ-ワリバイト	78	ドラクカムリップW	118	ドラクカムノブキャップ	201	バッテリーチャージレコード
38	ボ-スト(A)カラー	79	ドラクカムホルダー-オリング (B)	119	ドラクカムノブキャップ SC	202	イトボクシン
39	ボ-スト(A)カラーリテーナー	80	ドラクカムカラー	120	ドラクカムリバ-W(B)	203	ドラクカムリバ-
40	ボ-スト(A)	81	ドラクカムパッキン	121	フリセットノブ	204	リアクワイチュウインシール
41	ボ-スト(A)リテーナー	82	ドラクカムSP-W	122	フリセットノブメタル	205	ネオア-レンリルケース
42	ウオームシールド	83	ドラクカムボ-ルバアリング	123	フリセットノブ クリックSP	206	JAPANESEギョール

※調整、その他により、展開図、部品表内容が製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

故障かな？と考える前に

下記の点検が行なわれてもなお、正常に戻らない場合、およびほかの故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品御注文の際は、お買い求めの販売店、または取説裏面に記載されたお客様センターにおたずねください。

症 状	考えられる原因	処 置	参 照 ページ
パワーレバーを操作しても、モーターが回転しない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 船べり停止後、そのまま巻き続けカウンター表示が 0.0 m になっています。 ・ レバーを1度OFFの位置に戻していません。 ・ 船の電源を使用しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正常です。(巻き込み防止のため手動以外作動しないようにしてあります) RESET スイッチを押せば巻き上げ可能になります。 ・ 1度レバーをOFFの位置にもどして巻き上げを開始してください。 ・ 船電源は不安定で、正常に作動しないことがあります。電動リール専用バッテリーをご使用ください。 	14,21 13 9
カウンターがつかない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ バッテリーの残量切れです。 ・ コードの断線です。 ・ バッテリーに +、- が正しく接続されていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バッテリーを再充電してご使用ください。 ・ コードを新品と交換してください。 ・ 正しく接続しなおしてください。 	9 11 8
底からカウンターがつかない。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 棚をセットしていません。(INV.CNTR スイッチを押していません) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 正常です。(INV.CNTR スイッチを押さないと底からカウンターは点灯しないようにしてあります) 	14
勝手にシャクするような巻き方になる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ バッテリー残量減少などによる電圧低下が考えられます。 ・ 船の電源を使用しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ バッテリーを充電されたものと交換してください。 ・ 船の電源は不安定で、正常に作動しないことがあります。電動リール専用バッテリーをご使用ください。 	9 9
船べり停止位置がおかしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕掛けセットしたとき、RESET スイッチを押していません。 ・ 魚の有無、オモリの号数や船のゆれによって多少ズれることがあります。 ・ 糸がのびて水面0リセット点が下にズれてしまった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕掛けをセットした後は必ず水面0リセットをしてください。 ・ 水面0リセットを再度行なってください。 	20 20,21 20
カウンター表示に誤差が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用中に道糸がのびることがあり、カウンター表示と糸との間に差が生じることがあります。 ・ 魚の有無により、大きく張力が変動しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準となるところで、水面の0リセットをしてください。 ・ 表示補正をしてください。 	20 23

アフターサービスについて

本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたものですが、万一、故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品御注文の際は買い求めの販売店、または下記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター（無料） 携帯電話からもご利用できます

TEL 0120-506-204

受付時間：9:00～17:00（土・日・祝祭日は除く）

ホームページ上からも確認、お問い合わせできます

daiwa.globeride.co.jp

グローブライド株式会社

〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16

6Y5681010